

**製品名: MASP-2 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab13655**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	75kDa

**抗原情報**

遺伝子名	MASP2
別名	MASP2; Mannan-binding lectin serine protease 2; MBL-associated serine protease 2; Mannose-binding protein-associated serine protease 2; MASP-2
遺伝子 ID	10747.0
SwissProt ID	O00187
免疫原	抗血清はヒト MASP2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 227-276

**背景**

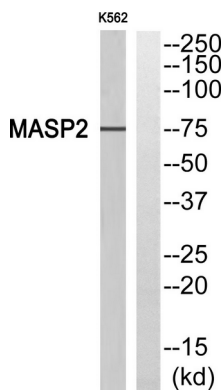
マンナン結合レクチンセリンペプチダーゼ 2 (MASP2) ホモサピエンス この遺伝子は、セリンプロテアーゼのペプチダーゼ S1 ファ

ミリーのメンバーをコードしています。コードされているプレプロタンパク質はタンパク質分解によって A 鎖と B 鎖が生成され、これらはヘテロ二量体となって成熟プロテアーゼを形成します。このプロテアーゼは補体系のレクチン経路において補体成分 C2 と C4 を切断し、C3 コンバーターゼを生成します。コードされているプロテアーゼは、プロトロンビンを切断してトロンビンを形成することで、凝固カスケードにおいても役割を果たしています。心筋梗塞および急性脳卒中患者では、コードされているタンパク質の血清濃度が低下します。選択的スプライシングによって複数の転写産物バリエーションが生じ、そのうち少なくとも 1 つはタンパク質分解によってプロセッシングされるアイソフォームをコードしています。 [RefSeq 提供、2016 年 2 月],触媒活性: 補体成分 C2 の Arg-223 (-Ser-Leu-Gly-Arg-|-Lys-Ile-Gln-Ile) および補体成分 C4 の Arg-76 (-Gly-Leu-Gln-Arg-|-Ala-Leu-Glu-Ile) の後ろを選択的に切断する。、疾患: MASP2 の遺伝的変異は、MASP2 欠損症[MIM:605102]の原因である。これは、感染症に対する感受性および免疫疾患の発症と関連している。、機能: マンノース結合レクチンを介して補体系の活性化に重要な役割を果たす血清プロテアーゼ。自己触媒的切断による活性化の後、C2 と C4 を切断し、それらの活性化と C3 コンバーターゼの形成につながります。、その他:二量体化と MBL2 結合にはカルシウムイオンが必要です。、オンライン情報:MASP2 変異 db,PTM:Arg-444 後の切断によって活性化されます。切断されていないチモゲンは合成基質に対して不活性であるが、自己触媒的切断を引き起こすのに十分な活性を有する。、PTM: 鉄および 2-オキソグルタル酸依存性のアスパラギン酸およびアスパラギンの 3 位水酸化は、EGF ドメイン内で (R) 立体特異的である。、類似性: ペプチダーゼ S1 ファミリーに属する。、類似性: EGF 様ドメインを 1 つ含む。、類似性: ペプチダーゼ S1 ドメインを 1 つ含む。、類似性: CUB ドメインを 2 つ含む。、類似性: Sushi (CCP/SCR) ドメインを 2 つ含む。、サブユニット: ホモ二量体; ジスルフィド結合。 MBL2 に結合。アイソフォーム 2 は MASP1 に結合。SERPING1 に結合。、組織特異性: 血漿。、

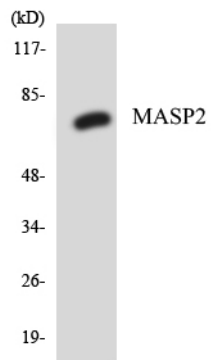
## 研究分野

補体と凝固カスケード;

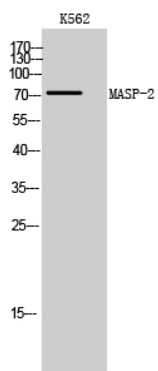
## 画像データ



MASP2 抗体のウェスタンブロット解析。右レーンには MASP2 ペプチドでブロッキングされている。



MA SP2 抗体を使用した HT-29 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



MA SP-2 ポリクローナル抗体を用いた K562 細胞のウェスタンブロット解析